

---

若葉区定住に関する調査  
子育てサークルヒアリング 実施結果概要

---

平成 25 年 9 月

千葉市 若葉区

## 1. 開催主旨

本件は「若葉区若年世代定住化促進策検討業務」の一環として、若葉区内の子育てサークルに参加している母親（6名）に集まってもらい、若葉区の魅力や改善点、定住促進に関する施策についての意見を聞く「子育てサークル座談会」を実施した。

会は予想以上に盛り上がり、調査に参考となる意見も多数出され、子育て中の母親ならではの視点で活発な意見交換がなされた。

運営上の工夫としては次の3点、①意見を有効に引き出すための材料提供（当社考案・別紙）、②カフェでのお茶飲み話的な雰囲気を作ること、③子育て中の母親が容易に参加できるよう、保育サービスを付加した点にある（写真参照）

## 2. 実施要領

日時	平成 25 年 9 月 18 日 10:00～	
場所	若葉区役所講堂	
参加者	若葉区内の子育てサークルに参加している母親	6名
	お子さん(3歳男児、1歳男児、1歳女児)※1	3名
	若葉区地域振興課 齋木主査、小檜山主任主事	2名
	ちばぎん総研(大矢・藤野)	2名



【保育サービスの様子（左）】

子連れ参加可能とするため、株式会社ママメイトに3名の保育士を依頼。玩具や簡易遊具などはママメイトが持参し、会場隣の部屋で約2時間保育サービスを実施した。

【座談会の様子（右）】

子育て中の母親ならではの視点で活発な意見交換がなされた。



### 3. 主な意見

#### ●現在の住まい（若葉区）を選んだ理由

- ・ 幕張の住宅展示場で見たダイワハウスの家が気に入った。ちょうど小倉台で建売分譲をしていたため見に行ったら、環境もよく気に入ったので若葉区に決めた。
- ・ 夫がすでに若葉区に家を持っていた。
- ・ 実家が若葉区。親と同居するため都内から戻ってきた。
- ・ 八千代市に住んでいたが、古いまちで道路も狭く、ゴミゴミしていた。転居を考えた時にほどよく田舎で、整備されており、交通面安全面が子どもにとってよいと感じた。ベッドタウンの落ち着いた雰囲気が気に入った。

#### ●若葉区の魅力、アピールポイント

- ・ 町がきれい。ホテルがある。自然が豊か。若葉区は8割が自然という印象。
- ・ 放射線量が他の区に比べて低いので安心。
- ・ 土いじりができる。オーナー制の農園があり、収穫することができる。都内の友達を招くとすごく喜んでくれる。3000円で一筆のオーナーになれるので、同じ3000円をテーマパークで使うのと、収穫体験に使うのでは価値が違う。子どもが土に触れ合っ遊ぶことはお金には変えられないすばらしい体験。しかも大量の枝豆のおみやげが付く。
- ・ 施設内で遊んでいると子どもたちはおもちゃの取り合いなどでケンカをすることが多いが、収穫体験だと争いが無い。相手の収穫したものを認め合うことを覚える。平和に遊んでくれる。
- ・ 若い人で畑をやりたい人は多いと思う。子どもができてから食に対する価値観や農業に対する価値観が変わった。以前は全く関心がなかったが、子どもができてからは是非自分でも畑をやりたいと思うようになった。
- ・ 食が豊か。

#### ●若葉区の弱み、課題

- ・ 千葉市全体にいえることだが、子育て施設がない。公園も少ない。
- ・ 都内は交流するスペースが多く、公園や施設も広く清潔。千葉市は図書館も少ないし子育て施設は充実していない。子育てにお金をかけていないと感じる。東京と比べるとかなりギャップを感じる。
- ・ 若葉区で生まれて育ったので、住んでいるときはなに不自由なく生活していたが、ひとたび東京に住んでしまうと、交通手段にしろ子育て支援策にしろ、あまりに充実していて子育てのしやすさに驚いた。
- ・ 車がないとどこにも行けない。子どもを連れて遊びにもいけない。車ありきの社会。
- ・ コミュニティバスがあると便利。今のバスは全て駅へ向いていて、地域の施設を巡回しない。子育て世代には使えない。
- ・ 子育てリラックス館も車がないといけな場所にある。最寄駅（モノレール）からも10分くらいあり、子ども2人の手を引いて歩ける距離ではない。2歳くらいまではよい

が、狭いのでそれ以上になるとあまり遊ばせられない。でも子育て関連の情報を掲示してある掲示板があるので情報欲しさにたまに行く。

- 子育ての情報がまとまって手に入る場所がない。自分がサークルの情報を提供しようと思っても、提供できる場がない。

### ●定住促進策についての意見（事務局案を提示し意見をもらう）

カテゴリ	主な意見
ライフスタイルの提案	若い人でもロハスやスローライフに興味がある人は多い。若葉区は都心に近いけれどスローライフが送れる場所であり非常に魅力的。そこをウリにすべき。都内でロハスなライフスタイルを提案するイベントなどに参加して、若葉区を売り込んだらよい。
農業体験	子どもがいる人はみんな畑に興味があると思う。子どもに収穫体験をさせることは食育面でも非常にプラスになる。もっと手軽にできるようになるといい。
	個人で借りられる畑は市民農園と地主が独自で貸している場合とあるが、情報が集約されていない。区で情報を集めて提供して欲しい。
	農業をおしゃれに楽しみたいという気持ちよりは純粋に農業をやりたいと思うが、女子は小さい子どもでもとてもおしゃれが好きなので、ガールスカウトのような農ガールのかわいい制服などがあればとても喜ぶと思う。
	農ガールが収穫した農産物を区民祭りで売る。目的があると意欲がわく。
農カフェ	都内の友人に若葉区にはなぜマクロビ(※)がないのか、とよく聞かれる。区内にはたくさん有機農業を頑張っている農家さんがいるのにあまり知られていない。もっとPRすべき。そのオーガニック野菜を使ったカフェがあったらいい。そこで有機野菜も販売したらよいと思う。安全でおいしい野菜が若葉区にあることをPRできる。駅のそばの空き店舗でもいいし、区役所の食堂をリニューアルしてもいいと思う。オーガニックカフェはウリになる。
	気軽に立ち寄れるカフェがあれば人が集まる場にもなる。お年寄りにも来てほしい。
地産地消	区内の給食は区内産野菜にするなどの地産地消ができるとよい。農薬たっぷりの輸入オレンジではなく、区内でとれた旬の梨を出してほしい。

※マクロビ…マクロビオティックの略。「玄米菜食」「穀物菜食」などとも呼ばれる。玄米や雑穀、全粒粉の小麦製品などを主食とし、野菜、穀物、豆類などの農産物、海藻類を食べる。有機農産物や自然農法による食品で、なるべく近隣の地域で収穫された、季節ごとの食べものを食べるのが望ましいとの考え方。

カテゴリ	主な意見
防犯	最近では防犯面での不安が多い。子どもだけの登下校に不安を感じることもある。都内では登下校時に親にメールが届くシステムがあるところもある。
	防犯パトロールは重要。地域の方にも参加してもらいたいし、自分も時間があるときは参加したい。
孫育て	孫育て中のおばあちゃん同志の交流の場もあったらとてもいい。ただ、孫育て世代だけでなく、孫育て世代と子育て世代をどう組み合わせるかが大切。孫育て世代も、別の子育て世代の話聞くことで意識が変わることもある。
	イクジイベントもあるといいが、そこで世代間の交流ができるといいと思う。目的のひとつではないか。
世代間交流	若葉区は高齢化が進んでいてお年寄りが多いが、高齢者は高齢者だけで集まっていて、子育て世代との交流が全くない。地域のお年寄りとのかわりを持てるようにしたい。登録制の助け合いの仕組みを作って、子どもと一緒に遊んでもらったり、防犯パトロールできるといい。また、手伝ってもらうだけでなく、こちらも買い物を手伝うなど give and take の仕組み。広くても中学校区単位で作りたい。ボランティアをした人には地域通貨やポイントを交付するなど、ボランティアをやりたい人がやる仕組みを作る。
	「育児を楽しむ若葉区」をウリにできないか。人とかわりをもつ、人を認める。昨今希薄になっている人との結びつきがたくさんある地域ということも魅力につながる。
情報提供	どこでなにができるのか、リアルタイムに情報が分かる仕組みがあるといい。若葉区のタイムラインのようなものがインターネット上にあれば、利用しやすい。たとえば、「この公園のコスモスがきれい。お弁当を持って遊びに行ける」とか、「坂月川にホテルがたくさんいるよ」などの最新情報があると、行ってみようという気持ちになる。現行の若葉区の投稿サイトは事前登録制になっており、投稿するのにややハードルが高い。もっと気軽に投稿できる仕組みにすべき。
	カブトムシやクワガタが身近にいることは都心では最近珍しい。男の子は虫が好きなので、虫がいる場所を地図に落とし込んだ虫取りマップがあるとすごくいい。また、若葉区は歴史的なものや塚などもたくさんあるので歴史・文化の要素(加曾利貝塚や御成街道など)を入れたマップや、市民農園や観光農園など農業体験できる場所がわかるマップがあるといいと思う。

カテゴリ	主な意見
情報提供	<p>情報提供にインターネットは欠かせない。今多くの人がスマートフォンを持っているので、それを利用しない手はないと思う。ただし、若葉区にはお年寄りも多いので、ネット以外の情報提供手段も併用すべき。子育てをしている世代の人にはインターネットを使えない人も多い。子どもに関する情報がすべてIT化されてしまうと困るのでは。</p>
	<p>情報が集約されていないので、情報提供する側も、情報収集する側も自分で探さないといけない。子育てリラックス館だけでなく、もっと人が集まる場所に掲示板を設け、子育て情報を提供、収集できるようにしてほしい。</p>
	<p>子育てサークルはかなりの数あるが、情報が集約されていないので、サークル同志の交流ができていない。子育てサークルフェスティバルのようなものを開催できるといい。</p>